

「ひらおで暮らす」を支える

ひらお あいむ

ひらお社協だより
10.10発行

2025 No.227

ゆたか
豊かな “人生100年時代” に向けて



がつにちひらおちょう れんらくきょうぎ かいしゅさい だいかい ひろば かいさい
9月6日、平生町ボランティアグループ連絡協議会主催の「第29回ひらおふれあい広場」が開催され、
めいかたさんか こうえきしゃだんほうじんやまぐちけんかん さきょうかいぜんかいちょう にしおとしよし
132名の方が参加されました。公益社団法人山口県看護協会前会長 西生敏代氏より、「人生100年時代の
かいぎよぼう しょうわ へいせい れいわ ふみ かえ だい いりょう かいご げんじょう うつ か けんこう
介護予防～昭和・平成・令和を振り返って～」と題し、医療・介護の現状と移り変わりや健康づくりの
ちゅうしん ほけんしかつどう けいけんдан まじ はな
ポイントを中心に、保健師活動の経験談を交えながらお話しいただきました。参加者一人ひとりが自身
せいかつ かつどう て あ うえ きづ こんご いしき も かた まな じゅうじつ けんきゅうじゅう
の生活や活動と照らし合わせた上の気付きや今後の意識の持ち方について学ばれる、充実した研究集
かいようす ようと
会となられた様子でした。

【編集・発行】

社会福祉法人 平生町社会福祉協議会

平生町大字平生村 618-2 あいあむ

TEL 56-8000 FAX 56-8020

✉ mail fukushi@hirao-shakyo.or.jp

💻 HP https://hirao-shakyo.or.jp



掲示ブースも賑わいました



ひらお社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

ひらおの町を良くするしくみ

10月1日より赤い羽根共同募金運動期間がはじまりました

●赤い羽根共同募金運動とは？

じぶんの町を良くするしくみ
1947年に始まった赤い羽根がシンボルとなつて
る募金運動です。“じぶんの町を良くするしくみ”として、
ひらおの様々な活動に役立てられています。

●募金の方法

いろいろな方法でたくさんの皆さんにご協力いただいています。

戸別募金

各ご家庭、世帯の皆さん

学校募金

児童生徒、教職員の皆さん

街頭募金

店舗の入り口などで呼び掛ける募金

その他の募金

イベント募金、協力店募金など

今年度の募金目標額

3,187,000円

皆さまのご協力を
お願いします

職域募金

職場内の従業員の皆さん

大口募金

個人や団体、企業の皆さん

あいあむの窓口ではPayPayで
募金することもできます！

赤い羽根共同募金運動ポスター受賞作品をご紹介します！

最優秀賞



平生中学校1年
白井 笑満さん

優秀賞

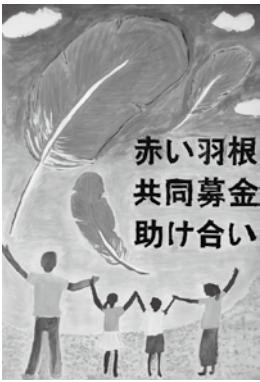


平生中学校3年
柏原 たからさん



平生小学校6年
五味 紗和子さん

佳作



平生中学校3年
重歳 星我さん



平生中学校2年
大本 心奈さん



平生小学校6年
大田 望結沙さん

おうぼ
ご応募いただいた全
ての作品を12月19
にち
日まで“あいあむ”に
て展示しています。
ぜひ、お立ち寄りくだ
さい。

あなたのお気持ちがひらおの幸せを支えています

共同募金の使いみち



昨年度、平生町では、たくさんの方々にご協力をいただき、総額3,050,188円の募金をお寄せいただきました。平生町で集まった募金の約70%は平生町のために、約30%は山口県全体の広域的な課題を解決するための活動や災害時などの緊急支援金に使われています。

住民福祉活動のために

- ボランティア団体などへの活動助成
- 地域福祉活動に関する広報

など

ボランティア活動
(弁当づくり)



障がい理解のために

- 様々な障がいのある方々や家族会の活動への助成
- 障がい理解の啓発活動

など

点訳教室の開催



高齢者のために

- いきいきサロン活動や支え合い活動への助成など

いきいきサロン



子どもたちのために

- ふくし講座の開催
- 平生中学校立志の集い
- 学校での福祉体験
- 子どもたちへの食の支援

など

ふくし講座「十代の君たちへ」



歳末たすけあいに

- 年末年始をおひとりで過ごされるおとしよりへの「年越しそばのお届け」
- 歳末たすけあい見舞金など

年越しそばのお届け



山口県全域の福祉活動に

- 災害時の緊急支援金や災害ボランティアセンター運営支援など被災地支援
- 県内の福祉施設への援助

など



災害ボランティアセンター

協力店(募金箱設置店)のご紹介

アルク平生店 上野商店 うどんの釜屋
各地域の交流センター 鈴木酒店 ひらお
特産品センター 藤井米・釣具店 ホーム
プラザナフコ平生店 マックスバリュ平生
東店 よこみち菓子舗 よなみや薬局
(敬称略・五十音順)

赤い羽根共同募金



ご協力をお願いします！

【共同募金に関する詳しいお問い合わせ先】

山口県共同募金会平生町共同募金委員会

あいあむ内 TEL 56-8000

私たちのまち“ひらお”を私たちの手で住みよいまちへ! — 福祉の輪づくり運動情報 —

おおのちく
大野地区

なつ ほうもんかつどう ～夏のふれあい訪問活動～

おおのちくしゃかいふくしきょうぎかい つき いちどみまもかつどういつかん かい みなてづく
大野地区社会福祉協議会では、月に一度見守り活動の一環として、ボランティアグループみやま会の皆さんのが手作りされたお弁当をお届けする「ふれあい給食」を実施されています。7・8月の暑い時期はお弁当のお届けはお休みにされますが、切れ目のない支援の実現に向け、「ふれあい訪問」を実施されています。この訪問活動では、地区内の高齢者宅を訪問し、日頃の様子を伺ったり、困りごとなどの相談に対応せたりしています。今回の「ふれあい訪問」では、お菓子をお届けされました。

か 「変わりはないですか?」「いつもありがとう」といったやり取りが交わされ、訪問先の方にとても訪問する方にとっても地域のつながりを感じられる活動となられています。



山口県立大学の学生が同行させていただきました

ひらおちく
平生地区

すいしんいんけんしゅうかい ～ふれあい推進員研修会～

がつ にち ひらおちくしゃかいふくしきょうぎかい みんなほうさい すいしんいんけんしゅうかい かいさい ひらおちょうでまえこう
9月24日、平生地区社会福祉協議会の皆さんのが防災をテーマにふれあい推進員研修会を開催され、平生町の出前講座「災害は突然やってくる!～わが家で地域で防災対策～」を受講されました。災害時に想定される危険や家庭・地域でできる防災対策について学ばれた後、避難所等で活用される段ボールベッドやパーテーションテントの組み立てを体験されました。講座終了後には、「避難情報を入手する方法を教えてもらえる機会があると良い」「日頃から関係づくりをしておき、緊急時には声を掛け合いたい」等、講座の内容を踏まえた情報交換が行われました。



さがちく
佐賀地区

こころ ゆうあいほうもん ～心をこめて友愛訪問～

さがちくふくしわうどうすいしんいいんかいみんなゆうあいほうもんかつどうじっし かつどうみまもかつどういつ
佐賀地区福祉の輪づくり運動推進委員会の皆さんのが友愛訪問活動を実施されました。この活動は、見守り活動の一環として毎年「敬老の日」に合わせて取り組まれており、今年も対象の85歳以上の方(175名)のお宅へ手土産をお届けされました。手土産に添えられたチラシには、「お健やかに」というメッセージと、困りごとがあつた際に気軽に相談いただけるようにするため、担当地区の民生委員児童委員さんとふれあい推進員さんの連絡先が書かれています。また、今年度は佐賀小学校の児童の皆さんとの色鮮やかなイラストが描かれ、温かみを感じられるチラシになっています。



お知らせ

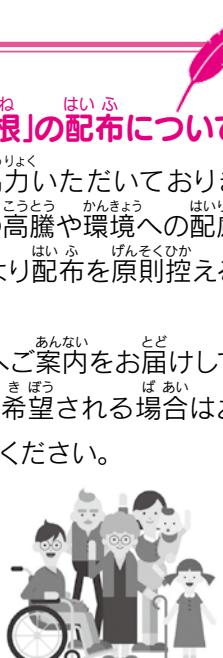
赤い羽根共同募金「赤い羽根」の配布について

まいとじちかいみんなきょうりょく ひらおちくきょうどうぼきんあかはねはいふ
毎年自治会の皆さまにご協力いただいておりま
す戸別募金において、資材費の高騰や環境への配慮のため、「赤い羽根」は今年度より配布を原則控えることとなりました。

がつまつじかいかいみんなあんないとど
9月末に自治会長の皆さまへご案内をお届けしてお
ります。「赤い羽根」の配布を希望される場合はお
手数ですが、下記までお問合せください。

お問い合わせ
ひらおちくきょうどうぼきんいいんかい
平生町共同募金委員会
(あいあむ内)

TEL 56-8000



赤い羽根共同募金 審査委員会開催

ひらおちくきょうどうぼきんいいんかい ぼきんしどうめいせい
平生町共同募金委員会では、募金の使途の透明性や適正な運用を確保するために、審査委員会を設置し、毎年審査会を開催しています。今年度も8月22日に7名の審査委員の皆さまが、町内のボランティアグループや社会福祉協議会等から申請のあつた20の活動について審査を行われました。

しんさけつかがつがつ
審査結果をもとに8月
にちうんえいいいんかいこん
29日の運営委員会で今
ねんどのぼきんもくじょうがくせつてい
年度の募金目標額の設定
おこなが行われました。



歳末たすけあい見舞金のお知らせ

歳末たすけあい事業の一環として今年度も申請を受け付けます。

対象 ◇町内在住の住民税非課税世帯のうち以下の項目のいずれかに該当する方

生活保護受給世帯は対象外です

1. 65歳以上での次の条件の両方を満たす方

①介護保険の認定が要介護5(12月1日現在)

②6ヶ月以上在宅で生活している方

2. 在宅で1年以上にわたり療養されている方

3. 町内在住の重度の心身障がい者で次の条件のいずれかを満たす方

①身体障害者手帳1級もしくは2級を所持する方

②療育手帳Aを所持する方

③精神障害者保健福祉手帳1級を所持する方

4. 母子・父子世帯

必要書類

・申請書

・令和7年度町・県民税非課税証明書

・上記1の項目に該当する方は、介護保険証の写し

・上記3の項目に該当する方は、各手帳の写し

受付期間 令和7年12月1日(月)～5日(金)まで

お問い合わせ 平生町社会福祉協議会(あいあむ)

平生町平生村618-2 TEL 56-8000

ふくし講座「十代の君たちへ」

防災力を楽しく身につけよう!

8月4日、『もしもの時に役立つ!楽しく学んで備える防災練習』と題して標識講座を開催し、15名の皆さん(親子含む)が参加されました。前半は、平生町総務課より防災のお話と段ボールベッドの組み立て体験が行われました。能登半島地震の被災地の写真も交えながら、災害時の危険や命を守るために行動、避難のポイントについてお話ししていただきました。後半は、皆さんで新聞紙スリッパを作成した後、非常食の試食と防災グッズの紹介を行いました。近年は手軽に購入できる商品が多く、災害への備えやその大切さを感じておられる様子でした。参加者からは、「災害時、平生町は結構危ないことが分かった」「学んだことを災害時に役立てたい」といった感想が寄せられました。



フリースペース

あいあむを実施しました!

夏休み期間中の毎週水曜日(全6日間)にあいあむを子どもたちの居場所の一つとして開放し、延べ392名の皆さんが来所されました。昨年度からのリピーターや毎週参加する姿も見られ、のびのびと過ごされていました。さらに、今年度は熊毛南高等学校ボランティア部の皆さんに子どもたちと一緒に楽しめるブースを企画・運営いただき、より賑やかな空間になりました。昼食にはカレーを無料で提供しました。



掲示板

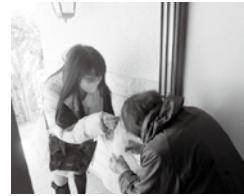
ボランティアに参加して笑顔で今年をしめくくろう! 年越しそば配食ボランティアを募集中!

今年も、年末年始をおとしよりのみで過ごされるご家庭へ「年越しそば」をお届けする配食ボランティアの募集を行います。年齢は問いません。皆さまのご応募をお待ちしています。

【とき】12月31日(水)午前中(1~2時間程度)

【お申込み・お問い合わせ】あいあむ(平生町社会福祉協議会) ☎ 56-8000

※お電話または右のQRコードよりお申込みください。集合時間等の詳細はボランティアの方へ直接ご連絡いたします。なお、定員50名になり次第、募集を締め切らせていただきますのでご了承ください。



参加者募集! 介護者のつどい

食事のコツ ~おいしく・たのしく・安全に~

「食事量が減ってきた」「ムセていて心配」そんなお悩みはありませんか? 食べることは暮らしが大切なしみの一つです。手軽に、おいしく“食”をたのしむコツについて、管理栄養士さんよりご紹介いただきます。日頃の介護にぜひお役立てください。

【日時】11月12日(水)

13:30~15:00

講座1時間/茶話会30分

【講師】柳井医療センター 栄養管理室長 森下麻衣氏

【会場】ふれあいまちづくりセンターあいあむ

【対象】在宅で介護をされている方

【参加費】無料

【お申込み】

平生町社会福祉協議会
お電話または下のQRコードより
お申込みください。

TEL 56-8200



ご協力お願いします



共同募金会では、被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を実施しています。

<現在募集中の義援金>

- ①令和7年台風第12号災害義援金(鹿児島県)
- ②令和7年台風第15号災害静岡県義援金
- ③令和7年8月豪雨義援金(熊本県)
- ④令和7年8月豪雨災害義援金(鹿児島県)
- ⑤令和7年台風8号に伴う災害義援金(沖縄県)
- ⑥トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金
受付窓口 あいあむ(平生町平生村618-2)

寄贈
匿名

介護用品 藤平 岡本 久子様

蔭丸 平山 吉原 和子様
山本美智子様

社会福祉資金

山田 岩柳 美子様 御尊父 柏木一美様

香典返し

◆ご芳志ありがとうございました◆
(8/1~9/30迄)(順不同)

経営理念

平生町社会福祉協議会は、だれもが安心して暮らせる“ひらお”的まちづくりをすすめます。
平生町社会福祉協議会職員は、人としてひとを大切にするプロフェッショナルを目指します。
私たちは、住民の満足、お客様の満足、職員の満足を追求し続けます。